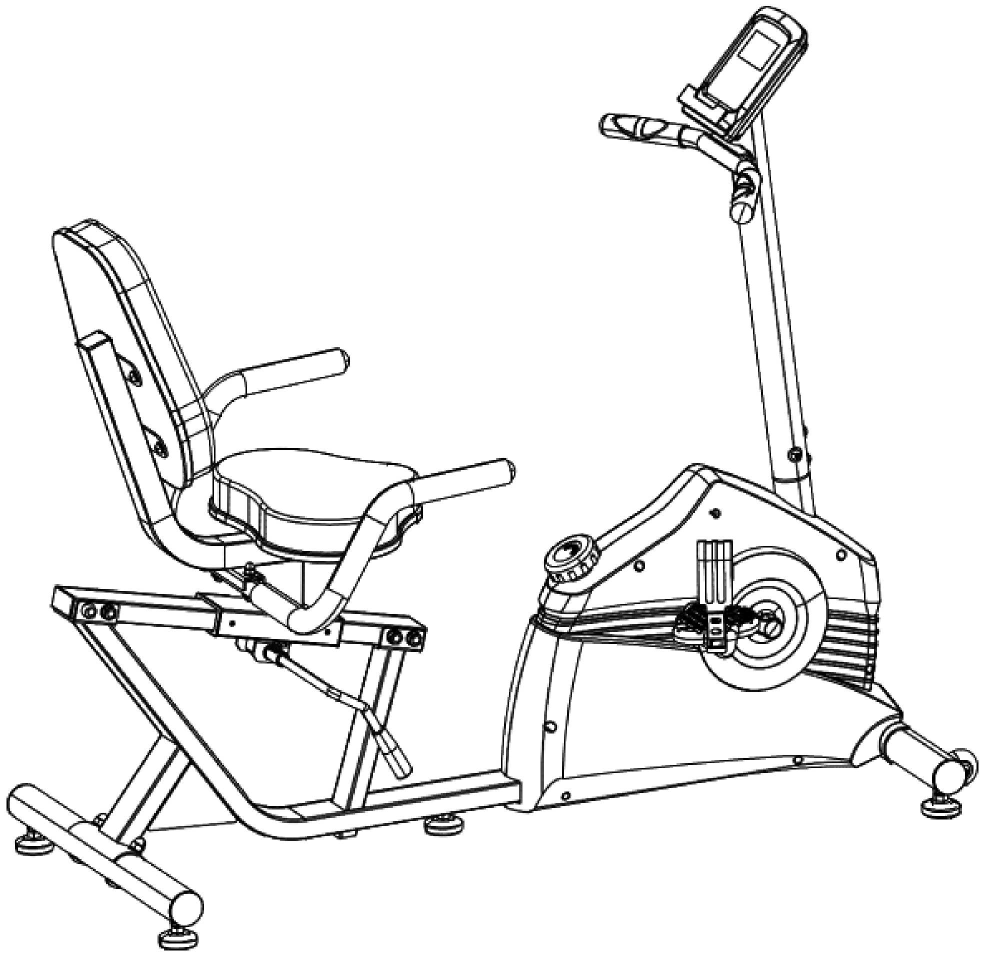
DAIKOU

リカンベントバイク（家庭用）

型番

DK-6010



この度は【リカンベントバイク DK-6010】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

◎ ご使用前にこの説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解されてから正しくご使用下さい。

◎ 本書の巻末に保証書がついていますので、手近なところに大切に保管して下さい。

◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。

◎ 本機は家庭用です。改良のため、予告なくデザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承下さい。

◎ 本機は家庭用として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。保証の期間・内容に影響しますので予めご理解下さいますようお願い申し上げます。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承下さい。

安全上の注意事項

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって２段階に別れております。

警 告	**誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容**
注 意	**誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容**

記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用下さい。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

警 告

1）機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことをお願い致します。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。
2）使用者が投薬を受けており、治療や心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動を行って下さい。
3）一般的なトレーニングの際に頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を医師へ相談のもと、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合にのみご利用下さい。
4）無理をせず、軽い負荷から開始して下さい。急激な運動は体に負荷を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談下さい。
5）お子様が本機を使用したり、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて下さい。
6）お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方等々)がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談下さい。
7）使用中の運動が十分確保できる平らな場所に設置し、安全のために本機と障害物の距離は 0.5 メートル以上離して下さい。
8）各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検して下さい。
9）本機を分解・改造しないで下さい。内部点検や修理をする際には当社までご相談下さい。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡下さい。
10）乗降する際にハンドルやアームにもたれかからないで下さい。安全性を損ないケガをする場合があります。
11）使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなり且つ安全性を損ないケガをする場合があります。
12）同時に２人以上で乗らないで下さい。人間以外の動物・物を載せないで下さい。
13）本機のご使用時は必ず運動靴を履き、紐等がペダルや駆動部等にからみつかないように処理してから行ってください。

注 意

使用上の注意事項

1）トレーニングの前後にストレッチ（準備体操）を行って下さい。
※トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。

2）食後のトレーニングは差し控えて下さい。食後２時間位あけてトレーニングを開始して下さい。
※本来胃に流れるべき血液が、体を使う事によって胃に流れにくくなり、消化に影響を与えます。

3）正しい使用方法以外でのトレーニングはおやめ下さい。

4）本機は家庭用のトレーニング機器として開発しています。一般家庭用以外の用途で使用なさらないで下さい。
※一般家庭用以外の用途で使用された場合、メーカー保証対象外となります。

5）異物を製品内部に入れないで下さい。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
※特にお子様のおられるご家庭ではご注意下さい。

6）体重**120**Kgを超える方はご使用にならないで下さい。

7）適合身長（約**150～185**cm）以外の方はご使用にならないで下さい。

8）60分以上の連続しての使用はなさらないで下さい。

9）速度30km/h以上での連続使用や過度な筋力トレーニング使用はおやめください。

保管上の注意事項

1）幼児が触らないよう安全に管理して下さい。

2）ご使用前には結合部分のガタつきや、緩み等がないよう確認して下さい。

3）本体に寄りかかったり乗ったりする事は絶対にお止め下さい。

4）使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、ご注意下さい。

5）組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護して下さい。

6）本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお薦めします。

7）本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理して下さい。

8）ペダル及びベルト、サドル、バックレスト、ハンドル等のラバー等、当社の定める消耗品は、ご購入日より３ヶ月以上経過した場合、有償となります。

9）次の場所に設置、保管しないで下さい。（サビの発生、メーター等の故障の原因となります）

・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所

・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所

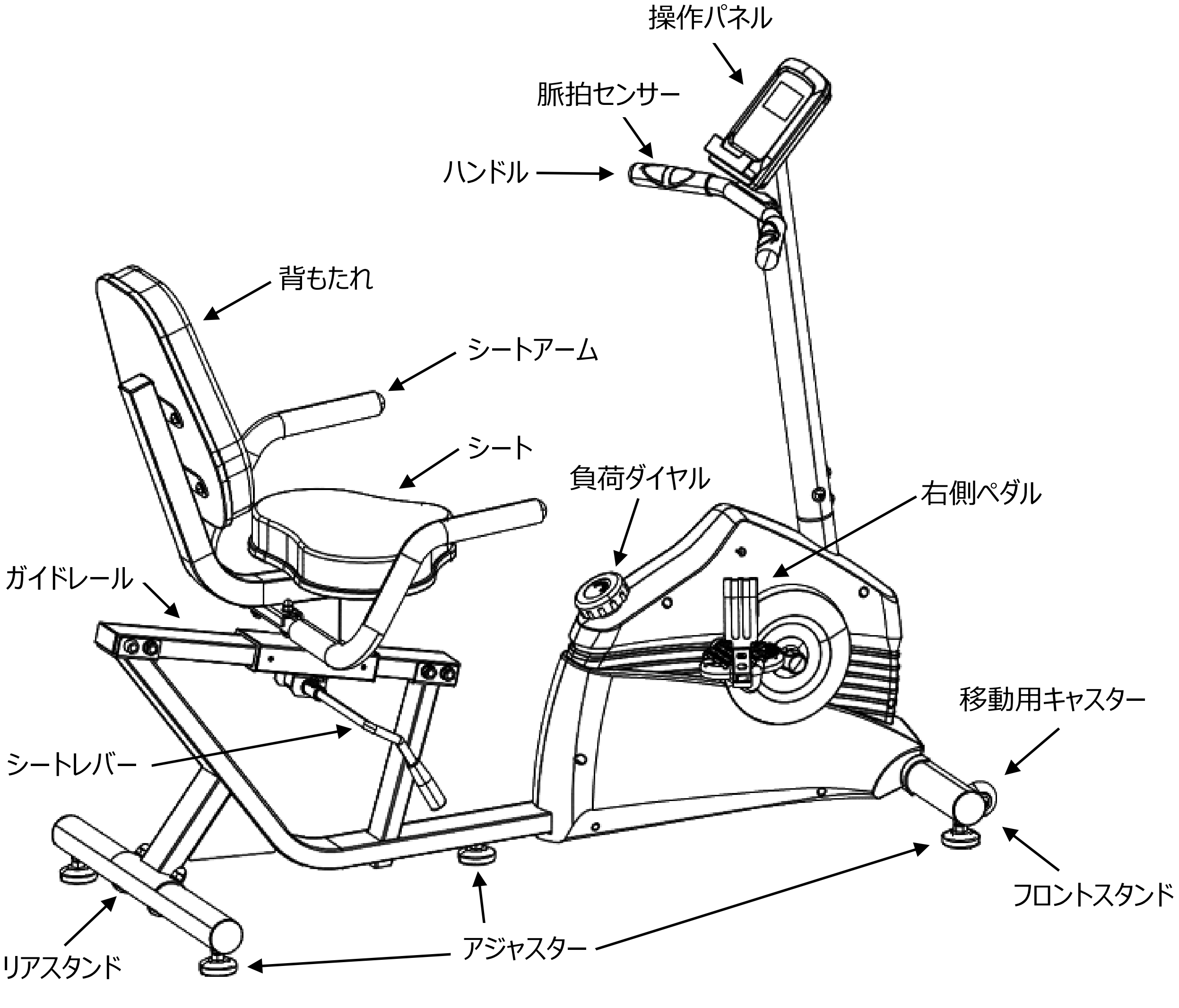
・磁気や電気的雑音の発生しやすいものの近く

・床面がコンクリートの打ちっ放しの所（マット等を敷いた場合でも不可）
※保管場所が適正でない場合、メーカー保証対象外となります。

仕様

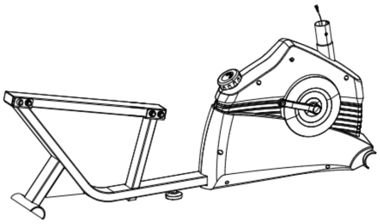
品名	リカンベントバイク（家庭用）	品番	DK-6010
材質構造	スチールパイプ･ABS 樹脂･ウレタン等	使用体重制限	120kg
電源	AC100V 50～60HZ	負荷方式	マグネット式(14段階)
本体サイズ	58cm×129cm×110cm	製品重量	32kg
梱包サイズ	55cm×130cm×29cm	梱包重量	36kg
脈拍検知方式	ハンドグリップ式	製造国	中国

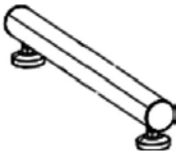
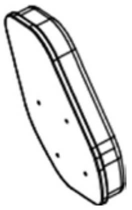
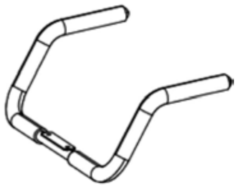
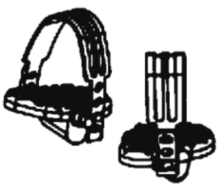
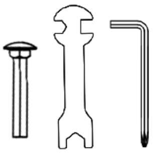
各部名称



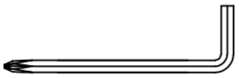
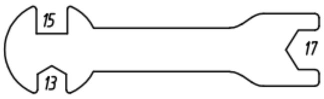
部品の一覧表

ワンポイント　この表には主要なパーツのみ掲載しています。 Step1～順番に進めながらご確認下さい。

 #1 本体	 #3 ハンドル	 #2 ハンドルポスト	 #5 背もたれフレーム

 #7 フロントスタンド	 #6 リアスタンド	 #55 シート	 #4 背もたれ	 #8 シートアーム
 #49 パネル	 #11 L/R 左右ペダル	 #43 シートレバー	 ネジパック	 取扱説明書

ネジパック内訳

#15 ボルト (M10*65) x 2本	#14 ボルト (M10*65) x 2本	#16 カーブワッシャー (d10*Φ20) x 4枚	#17 ナット (M10) x 2個
			
#41 ボルト (M8*16) x 8本	#29 平ワッシャー (d3.5*Φ16) x 8枚	L型レンチ (S6) x 1本	スパナ (S13-15-17) x 1本

●本一覧表に記載の内容は全て組立の際に使う部品です。全てのパーツが揃っているかご確認をお願いいたします。

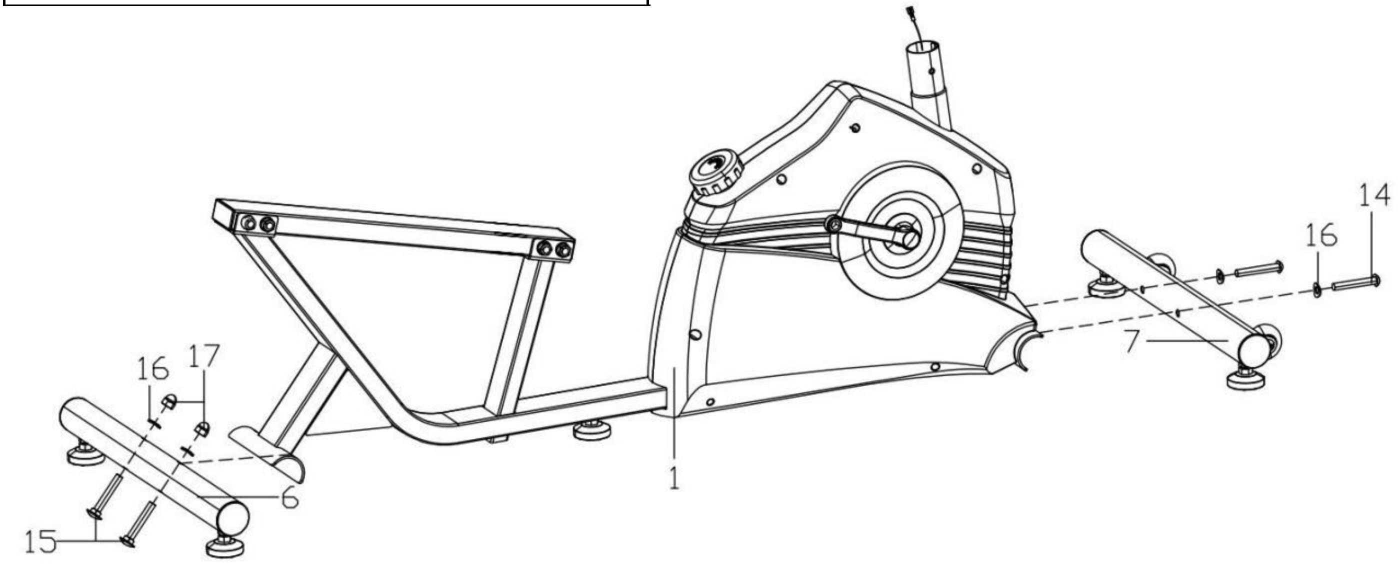
●ボルト類や一部の部品は、取り付け先に予め装着されている場合がございます。
　ネジパック内に見つからない場合は取り付け先も併せてご確認ください。

組立手順

組立を始める前の注意点

- 作業を開始する前に、部品と必要な道具が全部揃っているかご確認下さい。
  ※取り付け先の部位に予め仮止めされている場合もございます。見つからない場合は併せてご確認下さい。
- 開梱及び組立時は、必ず大人2名以上で行って下さい。
- 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- 本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行って下さい。
- Step 1 から順番に組み立てて下さい。
  ※各パーツにボルト類が仮止めされている場合がある為です。
  ※出荷時点で仮止めしたボルト類が梱包資材内に欠落している場合がございます。
  梱包の内側もご確認下さいますようお願い致します。
- 本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外して下さい。先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意下さい。
- 組立時、ボルトを締める際は一箇所づつ締め込まずに仮締めにして、全体が組み上がってから本締めして下さい。

Step1 ▶脚部の取り付け

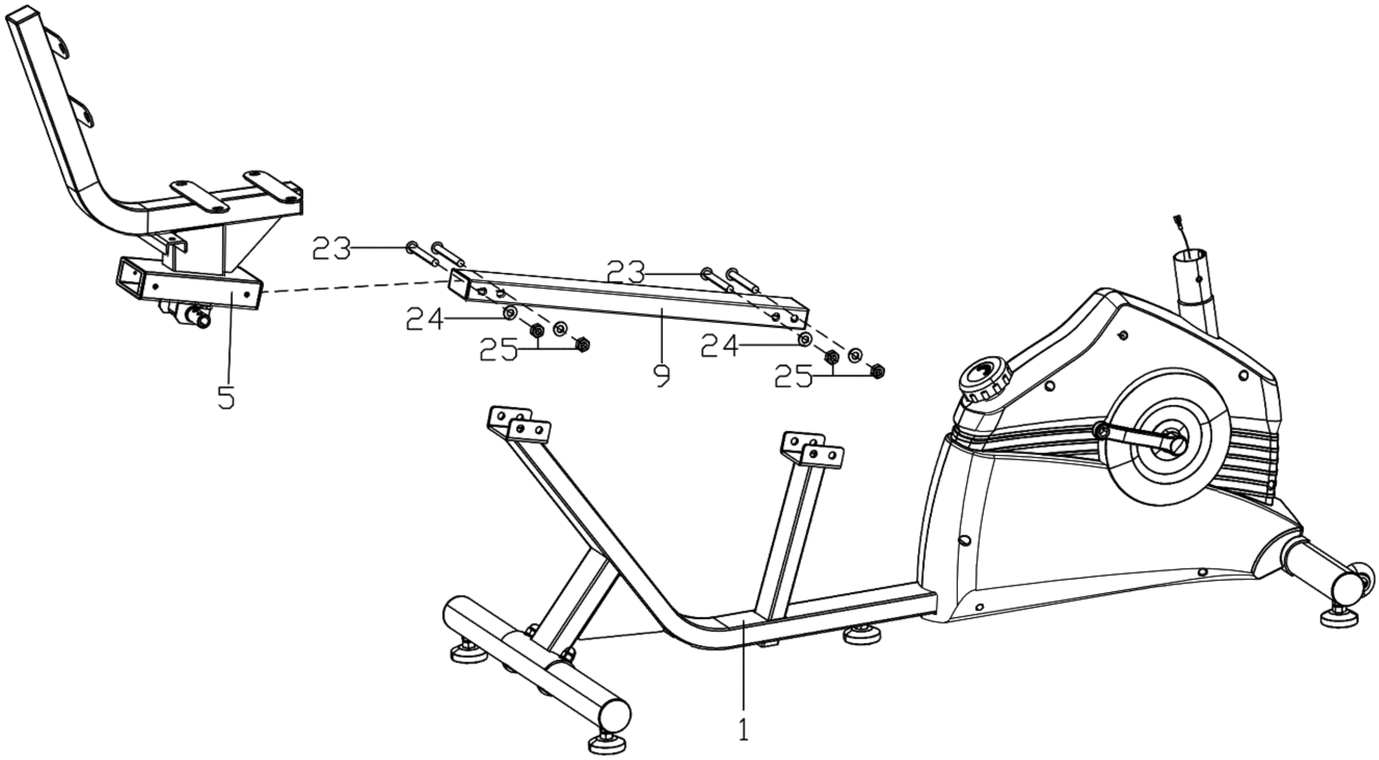


1. 本体(＃1)前方にフロントスタンド(＃7)を、ボルト(＃14)、 ワッシャー(＃16) 、各2つで固定します。

2. 本体(＃1)後方にリアスタンド(＃6)を、ボルト(＃15)、 ワッシャー(＃16) 、ナット(＃17)、
   各2つで固定します。

Step2 ▶ シートの取り付け

背もたれフレーム



1. 本体(#1) からガイドレール(#9)と、仮止めのボルト(#23) 、平ワッシャー(#24) 、ナイロンナット(#25) を取り外します。

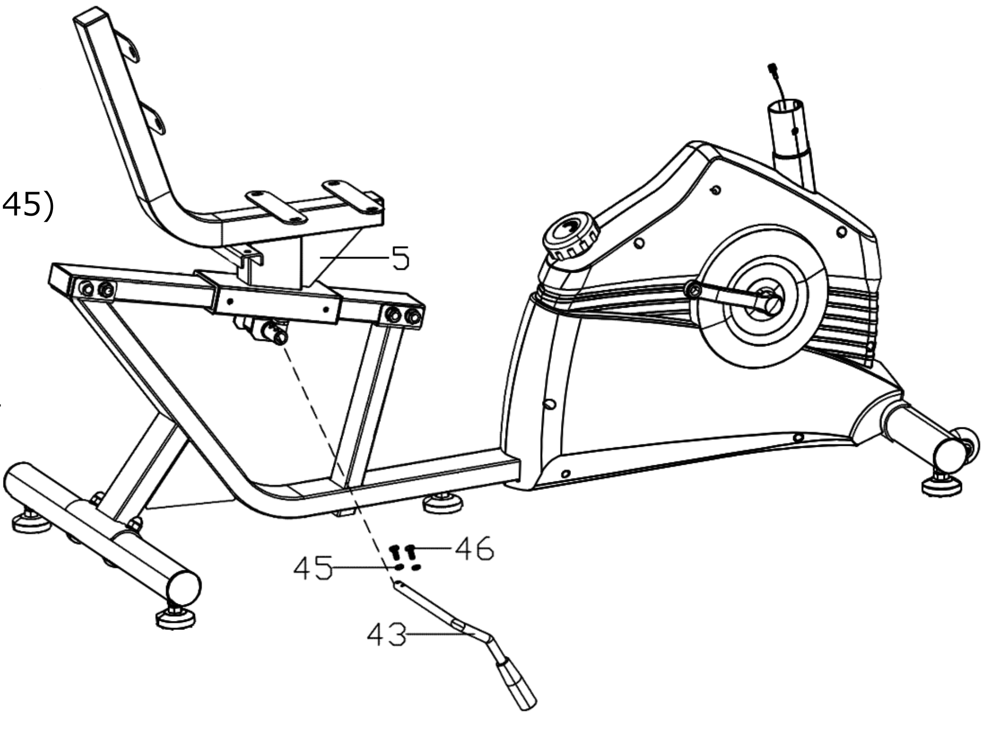
2. ガイドレール(#9) を背もたれフレーム(#5) に差し込みます。

3. 取り外したボルト(#23) 、平ワッシャー(#24) 、ナイロンナット(#25) を使用して、ガイドレール(#9)を本体(#1) に固定します。

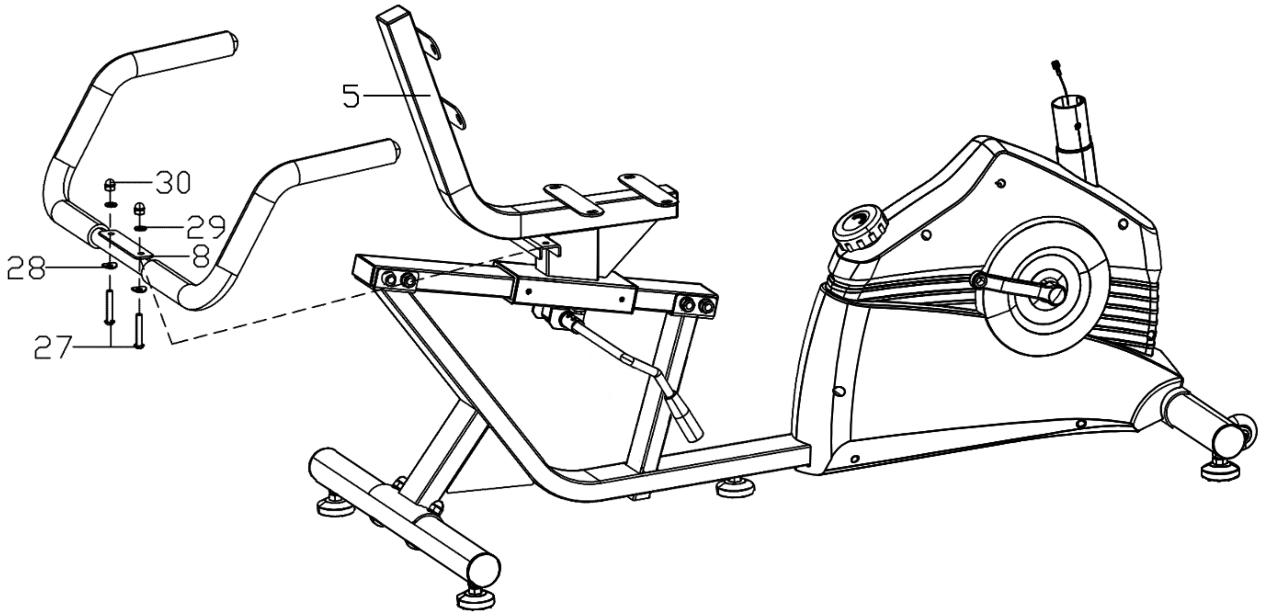
シートレバー

1. シートレバー(#43) から ボルト(#46) 、ワッシャー(#45) を取り外します。

2. 取り外したボルト(#46) と ワッシャー(#45) を使用して シートレバー(#43)を 背もたれフレーム(#5) に固定します。

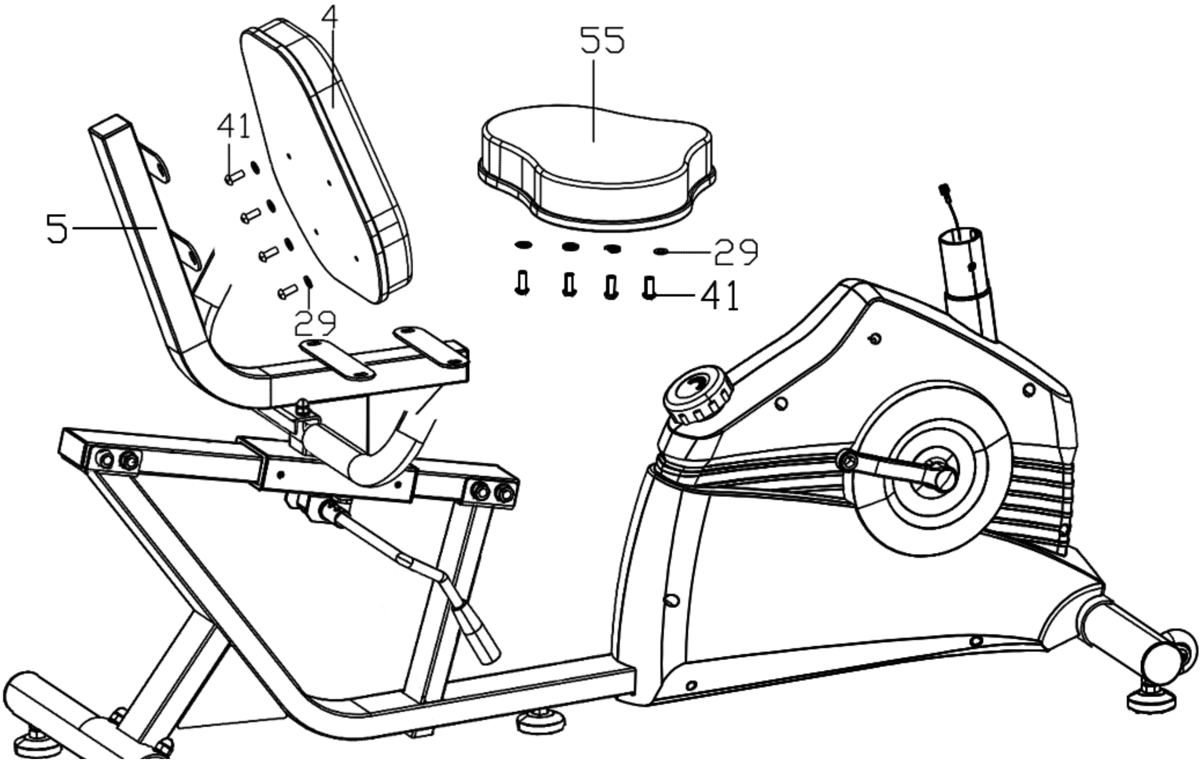


シートアーム



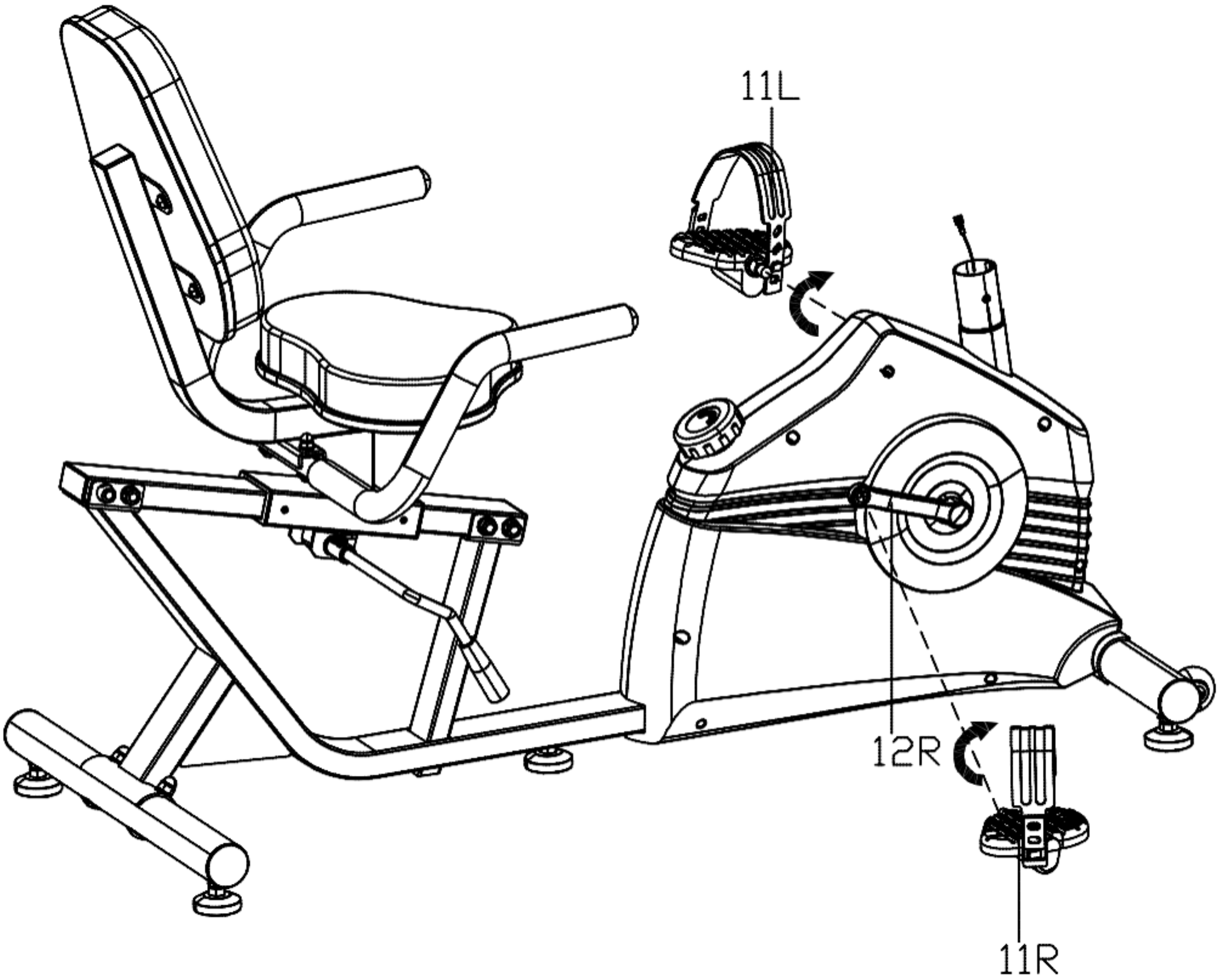
1. シートアーム(#8) からボルト(#27) 、カーブワッシャー(#28) 、平ワッシャー(#29) 、キャップナット(#30) を取り外します。
2. 取り外したボルト(#27) 、カーブワッシャー(#28) 、平ワッシャー(#29) 、キャップナット(#30) を使用して、シートアーム(#8) を背もたれフレーム(#5) に固定します。

シート、背もたれ



ボルト(#41) と平ワッシャー(#29) で、シート(#55) と背もたれ(#4) を背もたれフレーム(#5) に固定します。

Step3 ▶ ペダルの取り付け



左右ペダルにペダルバンドを取り付け、左右クランクにしっかりとねじ込みます。

<u>左ペダル</u>(#11L)は左クランク（#12L）に**<u>反時計回り</u>**に回して締めます。

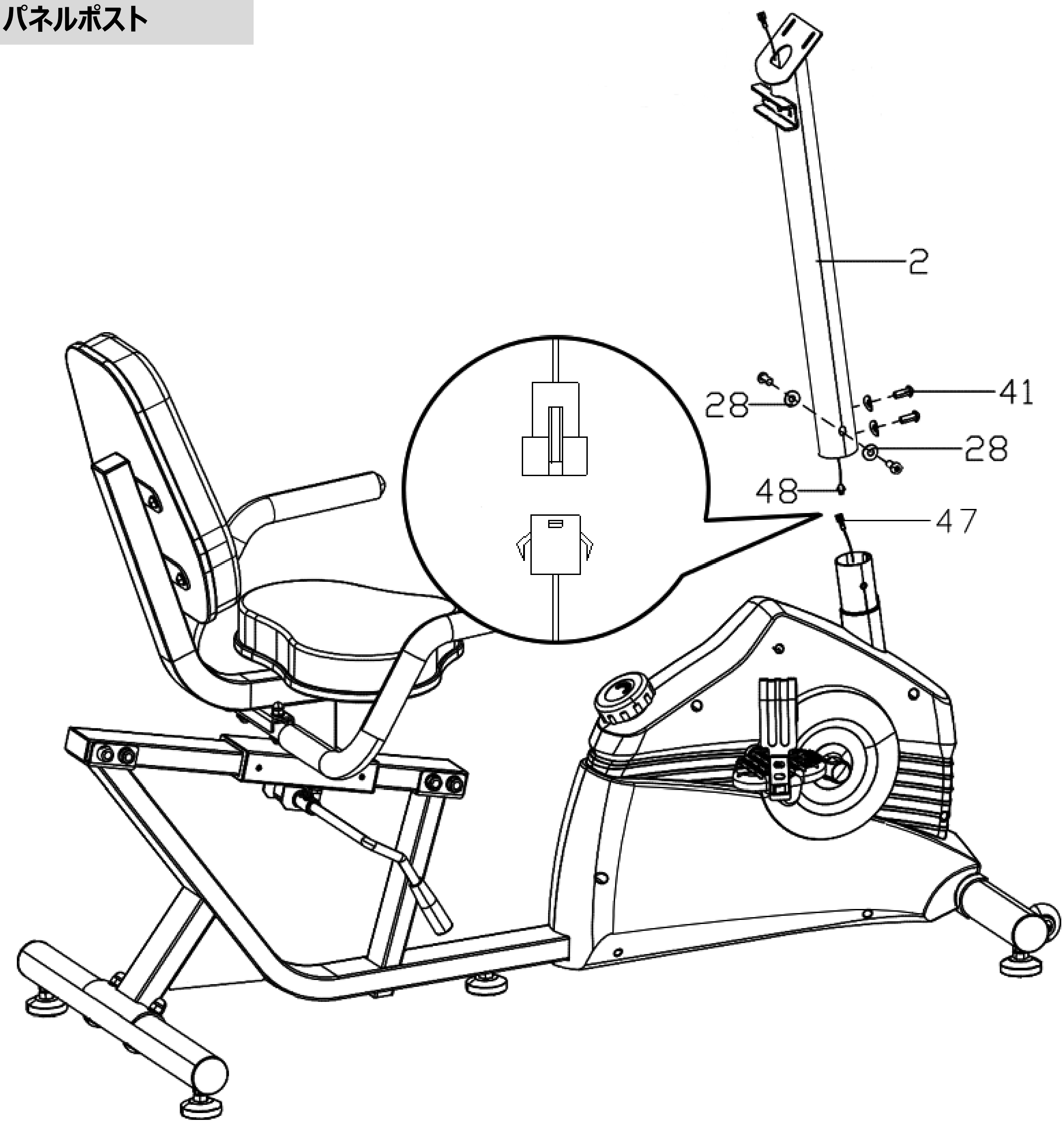
<u>右ペダル</u>(#11R)は右クランク（#12R）に**<u>時計回り</u>**に回して締めます。

⚠ ペダル取り付けの際の注意点

- クランク及びペダルにはL(左)・R(右)の印があります。必ず印を確認し、同じ印同士で取り付けて下さい。取り付けるペダルを間違えるとネジ穴が潰れてしまいますので、部品の左右取り付け間違いに充分ご注意ください。
- 左右のペダルで取り付ける際の回転方向が異なります。ペダルを間違えた回転方向に締め込むとネジ穴が潰れてしまいますので、部品の締め込み方向間違いに充分ご注意ください。
- ペダルは最後に増し締めすることで適正に固定されます。締めが不足していると異音の原因になります。

Step4 ▶ パネルの取り付け

パネルポスト

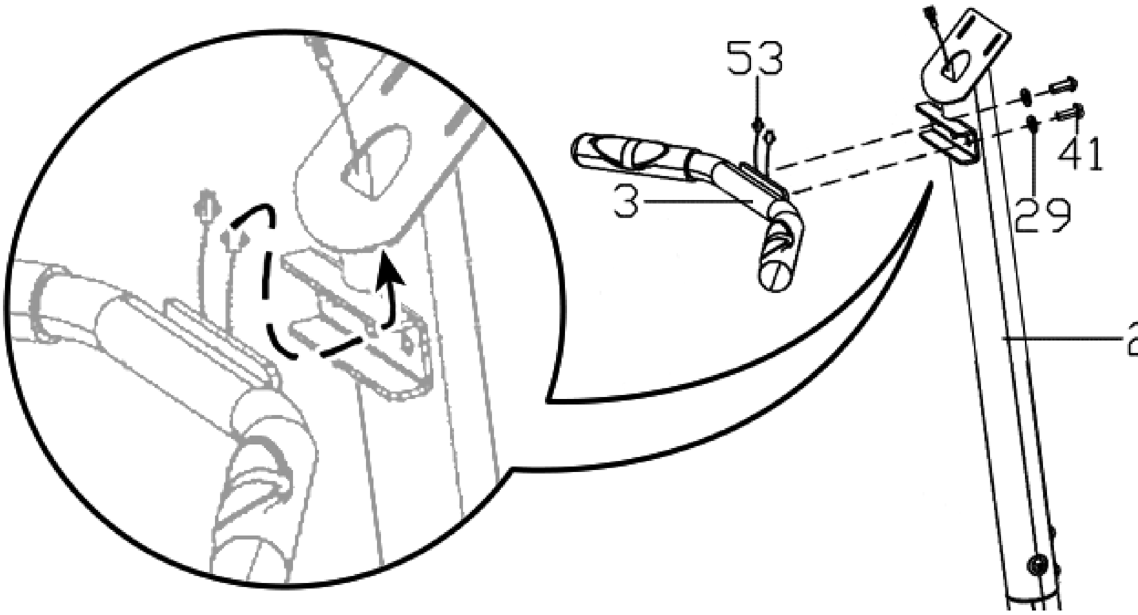


1. ハンドルポスト(#2) からボルト(#41) 、カーブワッシャー(#28) を取り外します。
2. 本体から出ている配線(#47) とハンドルポストの下方から出ている配線(#48) をコネクター接続します。
3. ハンドルポストを本体に差し込み、取り外したボルト(#41) とカーブワッシャー(#28) を使用して固定します。

⚠ パネルポスト取り付けの際の注意点

※各パーツに配線を挟むなどして断線しないようご注意ください。

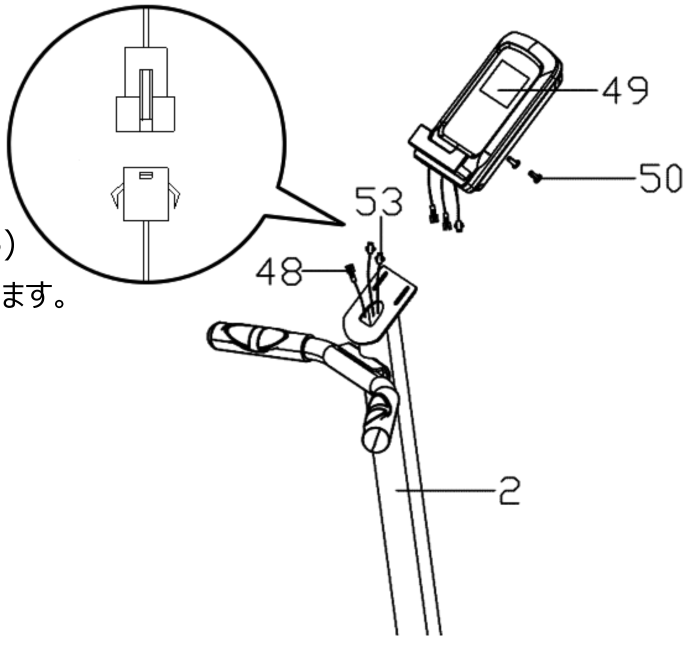
ハンドル



1. ハンドル(#3) から出ている配線(#53)をハンドルポスト(#2) 接続部分の穴に通し、
   ハンドルポスト(#2) 上部の穴から出します。
2. ボルト(#41) と平ワッシャー(#29) を使用してハンドル(#3) をハンドルポスト(#2) に固定します。

パネル

1. パネル(#49) からネジ(#50) を取り外します。
2. ハンドルポスト(#2) から出ている配線(#48) (#53)
   をパネル(#49) から出ている配線にコネクター接続します。
3. 取り外したボルト(#50) を使用してパネル(#49) を
   ハンドルポスト(#2) に固定します。



ハンドル、パネル取り付けの際の注意点

※各パーツに配線を挟むなどして断線しないようご注意ください。

最後に各部のボルトを本締めして組み立て完了です。

パネルの使用方法

各表示項目の説明

表示項目	表示内容	単位	表示範囲
SPEED	運動の速度を表示します。	km/h	0.0－99.9
TIME	運動中の経過時間を表示します。	分:秒	0:00－99:59
DIS	運動距離を累積して表示します。	km	0.00－99.9
CAL	運動中に消費したカロリーを表示します。	kcal	0.0－999
PULSE	運動中の心拍数を表示します（簡易測定）。	bpm	40－240
TEMP	スリープモード時に温度を表示します。	℃ / ℉	

操作ボタンの説明

モード	画面表示の切り替え、設定の選択を行います。
∧、∨	選択した値を増減させます。 長押しすると急速増減します。 TEMP選択時は温度表示(摂氏/華氏)を切り替えます。
リセット	選択した値をリセットします。 長押しするとすべての数値がリセットされます。

運動と表示について

●運動を開始、または操作信号を受信すると、モニターが自動的にオンになります。

●運動やパネル操作の信号が8分間ない場合、システムは自動的にスリープモードに入ります。

●スリープモード時、CALのウィンドウに温度（TEMP）を表示し、温度以外のすべてのメモリがクリアされます。運動データは保存されませんのでご注意ください。

目標設定について

1. モードボタンを押して任意の表示ウィンドウを選択すると、関連するウィンドウの値が点滅します。
2. 時間、距離、カロリー選択時、∧（アップ）またはＶ（ダウン）ボタンで目標の値を設定します。
   ※時間＝1分単位、距離＝0.1km単位、カロリー＝1kcal単位。
3. 運動を開始すると設定した目標数値がカウントダウンしていきます。この時、運動を一時停止するとカウントダウンも一時停止します。
4. 設定した目標数値が "0" に到達すると、表示の数値は "0" からカウントアップに転じます。

簡易心拍測定

ハンドルの心拍数センサーを両手で握ると、PULSEに心拍数（BPM）が表示されます。

心拍測定の注意点

※ 測定値に関しましては簡易的に計測しておりますので、実際の数値とは誤差がございます。目安として参考程度にご利用ください。

※ 測定値を医療処置の根拠とみなす事は出来ません。

※ あくまでも簡易測定であることをご理解願います。様々な要素に影響を受ける為、不正確な数値が表示される場合がございます。正確な測定をお望みの場合はお客様にて別途専用器具をご用意いただき、測定をお願いいたします。

使用電源

● パネルに指定の電池（マンガン推奨 市販の単四乾電池 2本）を入れると、LCDが点灯します。

● バッテリーの残量が少なくなるとパネル表示が見えにくくなります。同じタイプの電池に交換してください。

● 同梱されている電池はテスト用の電池のため、バッテリー残量が少ない場合があります。

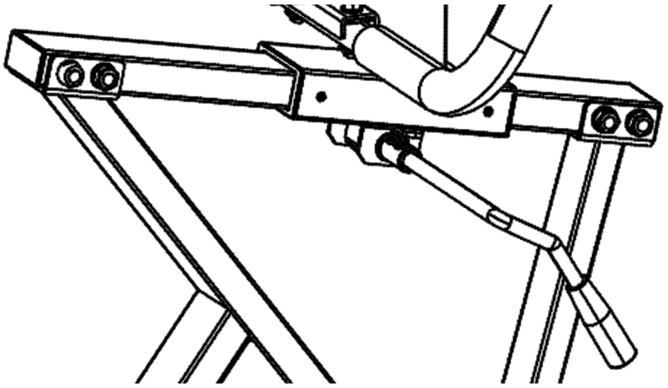
ペダルの負荷調整

負荷ダイヤルを左右に回し、お好みの負荷段階に合わせて
ペダルの重さを調整して下さい。
左側に合わせるほど負荷が軽くなり、
右側に合わせるほど負荷が重くなります。

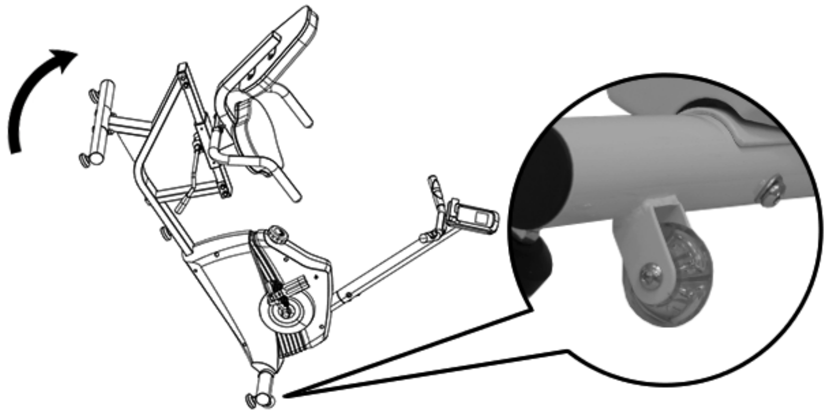
※ ペダルの負荷の重さは無理のないよう適正に調整して運動を行い、初めての方は軽めの負荷から始め下さい。

シートの位置調整

シートレバーを上げると背もたれフレームのロックが解除されます。ガイドレール上をスライドさせて、背もたれフレームの位置を無段階調整出来ます。
シートレバーを下げると背もたれフレームは再びガイドレール上にロックされます。



移動方法



本体後部を浮かせて傾ける事で移動用キャスターが接地して、本機を前後移動させることが出来ます。

製品メンテナンス

■製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取って下さい。

■水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないで下さい。

■パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取って下さい。

■ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保って下さい。

連続使用時間について

＜使用時間を守って下さい！＞

本製品を末長くご使用していただくために、パーツ保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守って下さい。

●連続使用時間は **60 分**までです。

●次に使用するときには、先に使った時間の **倍以上** のインターバルを取って下さい。

（例：30 分間使用 ⇒ 60 分間以上マシンを休ませる。）

消耗品のご購入

パーツのお求めや修理のご連絡は、大広株式会社までお問い合わせ下さい。

フリーダイヤル：0120-25-1622　携帯電話・PHS:03-5652-5056

受付時間：平日午前 10～12 時ならびに午後 1～5 時まで

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
表示パネルが作動しない	① 乾電池の【+】【-】の入れ間違い ② 接続コネクターが外れている。 ③ 乾電池が切れている。	① 乾電池の【+】【－】を入れ直して下さい。 ② 本体とパネルポスト、及びパネルポストとパネルのコネクターの接続を確認して下さい。 ③ 新しい乾電池に入れ替えて下さい。
ペダルが取り付けられない	ペダルの左右を間違えている。	本紙組立手順Step3をご参照下さい。
脈拍が測れない	① 脈拍コードの接続が不十分。 ② 心拍数センサーを握っていない。 ③ その他乾燥等。	① コネクターの接続を確認して下さい。 ② ハンドルの心拍数センサーをしっかりと両手で握って下さい。 ③ 手の保湿をお試し下さい。
グラグラする	床面が平らでない。	● 設置場所の変更。 ● アジャスターを調整する。
ペダルを漕ぐと異音がする	① ペダルの締め込みがゆるい ② ペダルに問題がある ③ 本体に問題がある	① 本紙Step3 と逆の手順でペダルを一旦外して頂き、向きを間違えないようペダルを再度取り付けてしっかり締め直して下さい。 ② ペダルを外した状態でクランクを回して下さい。音がなくなったらペダルの問題です。 ③ ②でも音が改善しない場合は、本体の問題が疑われます。 ②と③の場合、大広株式会社までお問い合わせ下さい。

保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　　名	リカンベントバイク（家庭用）DK-6010
保 証 期 間	ご購入日より１年間
ご 購 入 日	年　　月　　日
お 名 前	
ご 住 所	
T E L	－　　－

(1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。

(2) 保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示下さい。

(3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。

- お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
- 本来の使用目的以外による故障及び損傷
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・使用環境にともなうサビ・塩害等による故障及び損傷
- 保管上の不備による故障及び損傷
- 不当な修理、改造による故障及び損傷
- 取付場所の床面の損傷
- 本保証書の添付のないもの

(4)　使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。

(5)　家庭用以外に使用した場合は、無償修理交換の対象になりません。

(6)　本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

(7)　保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。

(8)　本保証書は日本国内のみ有効です。

(9)　修理品についての運賃、組み立て、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。

(10)　本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。

(11)　出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622
携帯電話・PHS:03-5652-5056
受付時間：平日午前 10～12 時・午後 1～5 時まで

開発販売保守　大広株式会社
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4　2F
TEL：03-5652-5056　/FAX：03-5652-5078
受付時間　（平日 AM10:00~12:00　PM1:00~5:00）